



江別のみなさん、こんにちは。
10月です。早いもので、もう秋です。
今年の夏は、連日の猛暑、オリンピック開催など
色々な事がありましたね。
体調を崩すことなく三密に気をつけて、北海道の
短い秋を元気に過ごしましょう！

代表取締役社長 石崎 昭仁

東京防災へ



防災準備を
始めましょ
う!!

手指消毒の基本!

コロナウイルスの終息が全く見えない中、日常生活の中でコロナ対策が、なあなあになって来た所
があります。そこで手指消毒の基本を再度見直してみました。

日本薬剤師会のHPに記載されていた、手指消毒時に注意をする箇所をご紹介します。

手洗いミスの生じやすい部位

出典:日本薬剤師会HP
薬剤師が知っておくべき感染症
予防対策(消毒編)より抜粋

左図に書かれている様に特
に親指と指先、指の股など
に注意が必要とされていま
す。手洗いをする際に、この
あたりに注意をしながら手
洗いを再度見直してみまし
ょう!!。コロナ発見当時は、
アルコールのみ消毒に有効
と言われていましたが、現
在では石鹼など、ある一定
の時間手洗いを行うことで
コロナウイルスが死滅する
と評価されています。



- 普通に注意をする箇所
- 比較的注意をする箇所
- 最も注意を必要とする箇所

そこで比較的入手しやすく、薄めて使う逆性石鹼なる消毒剤をご紹介します。この逆性石鹼は医療
機関でも使用されている消毒剤です。比較的使いやすく、通常は0.05%に薄めて使う様ですが濃度
を変えると、かなりの殺菌力を発揮する優れモノです。価格も1000円以下と購入しやすい価格です。
ではどのくらいの殺菌力があるのか?をご紹介します。右側の表を参照する上で下記目安、数値をご
参考にしてください。2.5以上がやや強い消毒効果と評価されています。

消毒効果の目安 出典:京都府立医科大学 (PRESS RELEASE)

対数減少値 > 4 → 極めて強い消毒効果 対数減少値 > 2.5 → やや強い消毒効果

※ 注意事項: 本評価には絶対的な基準はなく、あくまで消毒効果の目安として対数減少値が2.5(約1/300に減少)を「やや強い消毒効果」と設定しています。

ウイルスの対数減少値と消毒効果の関係

ウイルスの対数減少値が4 → ウイルスが消毒により 99.99% (1/10000 に) 減少 極めて強い消毒効果

ウイルスの対数減少値が3 → ウイルスが消毒により 99.9% (1/1000 に) 減少 やや強い消毒効果

ウイルスの対数減少値が2 → ウイルスが消毒により 99.0% (1/100 に) 減少

ウイルスの対数減少値が1 → ウイルスが消毒により 90.0% (1/10 に) 減少



表1:新型コロナウイルスにおける「皮膚上での消毒効果評価(新しい評価方法)」

京都府立医科大学(PRESS RELEASE) 人の皮膚上に存在する新型コロナウイルスに 対する各種消毒薬の有効性を説明より抜粋	皮膚上での消毒効果評価(新しい方法)		
	5秒	15秒	60秒
80w/w% エタノール	>4.00	>4.00	>4.00
60w/w% エタノール	>4.00	>4.00	>4.00
40w/w% エタノール	>4.00	>4.00	>4.00
20w/w% エタノール	0.53	0.61	0.81
70w/w% イソプロパノール	>4.00	>4.00	>4.00
0.05w/v% 塩化ベンザルコニウム	2.03	2.19	2.36
0.2w/v%*3 塩化ベンザルコニウム	2.72	2.97	3.19

【補足】※3:塩化ベンザルコニウム0.2w/v%は手術部位(手術野)の皮膚の消毒など特殊な用途に使う濃度で、メーカー指定の手指消毒0.1w/v%より高い濃度のため手荒れを起こす可能性があります。メーカーでは0.05~0.1w/v%でのご使用をお勧めします、との事です。0.05~0.1w/v%でも手荒れなどを起こす可能性がありますので、ご使用されて手荒れ、発赤、湿疹など異常が認められた場合は使用を中止し、医師の診察を受けてください、との事です。

表1の>4が良いと思われませんが、アルコール消毒液がない場合でも2.36以上の消毒薬を使い、60秒以上手洗いをすると良い様です。
ちなみに逆性石鹼は通常石鹼成分が手に残っていると、効果がなくなりますので、石鹼成分を十分落としてから消毒液をお使いください。
8月の日経新聞記事で、アルコール消毒液の消費が大きく落ち込んでいますと報道されていました。コロナウイルスが蔓延して2年近くが経ち、コロナ慣れが出ている事は否めません。再度手指消毒、マスク着用を心掛ける必要があるのではないのでしょうか？

換気にも十分配慮が必要です。

手指消毒と同時に、これからの季節コロナ対策で重要なのは、換気の確保です。夏場は窓を開けフレッシュな空気を入れる為、換気は十分行う事ができました。これからの季節は外気温度が下がる為、どうしても窓を閉め密閉された空間になりがちです。そこでコロナの換気対策とまでは行きませんが、熱交換型の換気扇の導入はいかがでしょうか？

暖房する事が少しずつ増え、換気をするとせっかく暖めた空気が換気により無駄になると考えられます。そこで熱交換型の換気扇を導入すると熱損失を最小限に抑える事が可能と思います。換気と同時に熱も回収する優れた商品です。ぜひ採用をお勧めしたい商品です。

熱交換型換気扇



LIXIL エアマイスター



三菱電機 ロスナイ



パナソニック キュ-ハイファン

ヒートショックに気をつけよう!

温度差には、十分気をつけましょう!!

10月でも朝晩は冷え込みます。

お風呂場の室温と脱衣場の室温、そしてお湯の温度。この温度差に十分注意が必要です。また、42℃以上のお湯に急つかると血圧が急上昇し、色々な症状が現れます。くれぐれも急の付く動作には注意が必要です。まずは脱衣場の室温とお風呂場の室温を上げ、ヒヤッとならない温度設定にする必要があります。これからは朝晩、冷え込む季節です。室温と浴室の温度差には注意が必要です。

